

平成23年12月16日
日和産業株式会社

平成24年1～3月期の畜産用配合飼料価格について

平成23年度第4四半期（平成24年1～3月期）の畜産用配合飼料価格につきまして、以下の飼料原料及び為替情勢に基づき、平成23年10～12月期に対して当社の全畜種平均トン当たり約2,200円の値下げを実施致します。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別により異なります。

【現在の情勢】

① 飼料穀物

米国産とうもろこしは、価格高騰による需要の減退で逼迫していた需給見通しが緩和されたことや、欧州財政懸念で投機筋のリスク回避姿勢が強まり、10月初めに5ドル後半まで急落しました。その後も、他産地の増産見込みにより米国産需要が伸び悩み、現在580¢/ブッシェル前後で推移しております。

② 副原料

中国の大豆輸入量減退と南米産大豆の豊作が見込まれることから、米国産大豆相場は下落しました。米国農務省の12月度需給報告で新穀の期末在庫見通しが予想平均を上回り在庫率が改善されたことで、現在も軟調に推移しております。

③ 海上運賃

米国ガルフ～日本間の海上運賃は、中国向け石炭輸出の増加や燃料費の高騰により10月中旬まで堅調に推移しておりました。その後、世界経済の減速懸念で上昇の勢いは若干緩んだものの、燃料費の高止まりに支えられ依然高値で推移しております。

④ 外国為替

欧州債務問題と米国景気の回復鈍化懸念を背景に円は一時75.31円/ドルまで上昇し、史上最高値を更新しました。それを受けて政府・日銀は大規模な単独円売り介入を実施し円相場は79円台まで急落。介入への警戒感から現在は77円/ドル後半で推移しております。

以上

*お問合せ先 日和産業株式会社 原料部

TEL 078-811-1221